

「魅力ある学校づくり調査研究事業」は、国立教育政策研究所の委託事業であり、第Ⅲ期（平成26，27年度）では、富里市立富里南中学校を拠点校として、不登校の未然防止に係る調査研究を行ってきました。

第Ⅳ期（平成28年度）では、市町村教育委員会が対象となったため、県では富里市教育委員会に委託しました。富里市教育委員会では、これまでの調査研究で得た不登校の未然防止についての成果を基盤として、不登校の初期対応の取組についてモデル校を中心に検討するとともに、不登校児童生徒の出現を抑制するために市町村教育委員会が果たすべき役割について、調査研究をしています。

## 富里市教育委員会の取組

### 1 第Ⅲ期（平成26，27年度）の取組

#### （1）富里市立南中学校区での取組

富里南中学校区を指定地域として、小中の接続期である小学校6年生と中学校1年生に着目し、「生活をつなぐ」「学習をつなぐ」「心をつなぐ」ことに重点を置き、9年間をつなぐ「絆づくりの場」を目指して実践を積み重ねてきました。

##### ○「生活をつなぐ」

生活の決まりと年間計画を作成し、9年間の発達の段階に応じた生活場面のめあてを設定するとともに、児童生徒への共通理解を図る。

##### ○「学習をつなぐ」

学び合いの学習スタイルの確立を目指し、「授業は自分たちで作るもの」という意識の醸成と、学習の自立のための学び合いの学習スタイルの訓練に取り組む。

##### ○「心をつなぐ」

児童会・生徒会が主体となって、小中の交流行事を設定し、異年齢集団の積極的な交流を図る。

#### （2）富里市ジョイント・スクール推進事業

富里市では、既存の中学校区をひとつの学園として、現行の6・3制により義務教育9年間を見通した教育を行っています。本事業では、3つの学園（富里中学校区『中央学園』・富里北中学校区『北学園』・富里南中学校区『南学園』）において、9年間の児童生徒の学びと成長・発達を考慮し、地域の特性を生かした特色のある小中連携、小小連携、小中の交流活動を地域全体で積極的に推進しています。

<平成27年度の主な取組（交流活動）>

##### ○中央学園

「郷土愛育成プロジェクト ～旧岩崎家末廣別邸 環境整備活動～」

児童生徒の交流促進及び郷土愛の育成を図ることを目的とした地域の文化財の環境整備を実施しました。

○北学園

「共同で行う造形活動『つなげる・つながる』 ～ビルダーカードを用いて～」

小中学生合同での造形活動をとおして、心の交流を深め、異年齢における信頼関係を構築するとともに、達成感や自己存在感、一体感を味わわせました。

○南学園

「南学園スポーツ交流会」

中学校1年生と小学校6年生がスポーツをとおして交流を深め、小学校から中学校へのスムーズな移行を目指すとともに、児童生徒の絆づくりを行いました。

## 2 第Ⅳ期（平成28年度）の取組

### （1）未然防止の取組

- 第Ⅲ期に富里南中学校区で取り組んで得た成果と、富里市ジョイント・スクール推進事業での取組の関連性を整理し、年間をとおした取組が無理なく、しかも効果的に実施できるように整理し実施していきます。
- これまでの取組の基本的な方向性や内容を大きく変えることなく、卒業や進学・進級によって変化する児童生徒の実態に柔軟に対応し、更なる効果をねらった新規取組を視野に入れていきます。
- 加配教員は、富里南中学校区でのこれまでの取組を市内の小中学校に広めるにあたり、打合せ会等に積極的に参加し、共通理解が図れるように働きかけます。

### （2）初期対応の取組・・・モデル校として富里南中学校を指定

○「不登校解消対策チーム」の校内組織化

◆構成メンバー

市教委学校教育課長・指導主事 校長・教頭・加配教員・生徒指導主事（主任）・学年主任 養護教諭・スクールカウンセラー
---



必要に応じて

民生委員・駐在所（警察）・市福祉部局職員 市適応指導教室職員・訪問相談担当教員 スクールソーシャルワーカー スクールカウンセラースーパーバイザー・医療関係者 子どもと親のサポートセンター職員 等
---

○「不登校解消対策の手引き・事例集」の作成及び配付

◆不登校解消対策チームにより作成

◆市内全小中学校に配付し、その活用について市教委主催の会議で周知

※ 詳しい内容については、富里市教育委員会学校教育課（0476-93-7659）にお問い合わせください。